

EtherCAT Technology Group
メンバー各位

EtherCAT
Technology Group
ETG 日本オフィス
神奈川県横浜市
中区桜木町1-1-8日石横浜ビル
18F
日本

+ 81 (0)45 650 1610
info.jp@ethercat.org
www.ethercat.org/ITW

2026 EtherCAT International Technology Week Japan | オンライン
2026年3月23日-27日

2026年1

ETGメンバーの皆様へ、

EtherCAT Mainデバイス、Subデバイス、設定ツール、コード、ツールのすべての開発者の皆様を、EtherCAT International Technology Week (ITW) ワールドシリーズ2026に心よりご招待いたします。今年で5回目を迎えるITWワールドシリーズは、ETGの年間イベントカレンダーにおいて欠かせない存在となっています。



ITW期間中、ETGのエキスパートが一連の技術ウェビナーを主導し、EtherCAT関連のトピックについて、開発に関する深い洞察と実践的なガイダンスを提供します。

これらのセッションは、EtherCATデバイスの実装、パフォーマンス、リリースの過程でよく直面する課題に対応するよう設計されています。

各ウェビナーの後にはQ&Aセッションが設けられ、質問をしたり、講師と直接交流する十分な機会が提供されます。

ウェビナーでは、EtherCAT技術の実装と活用に焦点を当てています。

コンテンツは、EtherCAT初心者の方にも、経験豊富な開発者の方にも興味深い内容となっています。

今年は新しいセッショントピックに加え、昨年取り上げたトピックも再度扱います。

昨年すでに参加された方でも、今年は更新された機能や新しい観点が含まれるため、改めて新しい知見を得られる可能性があります。

今年のITWワールドシリーズ、特に日本開催のITW Japan (2026年3月23日～27日) には、ぜひご参加ください。

各セッションの詳細や、全体のセッションカレンダーは以下のページでご覧いただけます。

ウェビナーへのお申し込みは、以下のリンクからお願いいたします：

www.ethercat.org/itw-japan

ETGメンバー専用のイベントです。参加費は無償です。ご興味のある方は、ぜひETGまでご連絡ください！

ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

ETG日本オフィス

ウェビナー

基礎 月曜日

2026年3月23日 月曜日
02:00 pm – 03:00 pm (JST)

EtherCAT開発の始め方 - いくつかの重要なポイント

EtherCATの機能原理はシンプルですが、多くの実装オプション、通信デバイス（ASICS、SoCなど）、ドキュメント、開発者向けイベントが用意されています。このウェビナーでは重要な決定事項や開発ステップとその順序を示します：基本的なEtherCAT理論トレーニング、EtherCAT Subデバイスコントローラを選択するためのパラメータ選択、利用可能なEtherCAT Subデバイスソフトウェアスタック、パラメータやプロセスデータの整理、社内テスト、テストツール、EtherCATテストセンターによる公式テスト、開発者向けイベントなどが含まれます。



Florian Essler

2026年3月23日 月曜日
03:30 pm – 04:30 pm (JST)

EtherCAT開発者向けリソース情報

EtherCATに関するドキュメント、仕様、ウェブページ情報は豊富に用意されています。本セッションでは、どのような情報が利用可能かをご紹介します。EtherCAT仕様書 ETG.1000 / IEC 61185 の読み方、ETG.2000 EtherCAT SubDevice情報の活用方法、EtherCAT Knowledge BaseやEtherCAT Compendiumの使い方、価値ある人気イベントのご案内、そして世界中のETG EtherCATエキスパートとのコンタクト方法について解説します。



Alessandro Figini

実践 火曜日

2026年3月24日 火曜日
02:00 pm – 03:00 pm (JST)

仕様理解から実装まで：EtherCAT Subデバイス構築ガイド — Part 1

このウェビナーでは、EtherCAT開発の実践的なプロセスを解説します。第1部では、プロトタイプSubデバイスにおけるパラメータと周期データについて説明します。これらは、デバイスプロファイルのガイドラインにしたがってCoEオブジェクトディクショナリに構造化されます。OD（オブジェクトディクショナリ）の記述から、Subデバイススタック、ESIファイル、SIIを生成するための基盤を構築します。さらに、適切なハードウェアの選定やその他の基本的な検討事項についても取り上げます。



Florian Essler

事前に視聴すると参考になるウェビナー：EtherCAT開発の始め方

2026年3月24日 火曜日
03:30 pm – 04:30 pm (JST)

仕様理解から実装まで：EtherCAT Subデバイス構築ガイド — Part 2

このウェビナーでは、EtherCAT開発の実践的なプロセスを説明します。第2部では、ソフトウェアスタックの設定とプロトタイプアプリケーションのデモを行います。開発を支援する重要な手段として、開発プロセス全体を通じてConformance Test Tool（CTT）の使用方法を紹介します。さらに、プロセスを締めくくするために、品質テストに関連する側面もデモンストレーションします。



Florian Hammel

ウェビナー

CTT 水曜日

2026年3月25日 水曜日
02:00 pm –03:00 pm (JST)

CTT - 基本機能とスレーブ開発への活用方法

EtherCATコンFORMANCEテストツール (CTT) の基礎とEtherCAT Subデバイス開発での使用方法を紹介します。このプレゼンテーションでは、ツールの多くの便利な機能やプラグイン、EtherCATプロトコルのテスト、様々なEtherCAT Subデバイス構成の長期テスト、エラー検出メカニズム、テスト結果の解析について説明します。



Gregor Erzen

2026年3月25日 水曜日
03:30 pm –04:30 pm (JST)

CTT - 高度な機能（リモートコントロールインターフェース、設定、他）

このウェビナーでは、複雑なEtherCAT Subデバイスの高度なCTT設定とテストを紹介します。また、CTTリモートコントロールインターフェースを使用した自動テストの実行方法についても説明します。PowerShell™によるスクリプト作成により、リモートでCTTを起動し、異なる設定をロードしてテストを実行し、結果を保存して内部テスト文書化することができます。



Oliver Horst

応用 木曜日

2026年3月26日 木曜日
02:00 pm –03:00 pm (JST)

社内で高精度ETCテストを実施 — 手動テストの実習デモ

EtherCATテストセンター (ETC) で実施されるテストは、ETG.7000.2 Test Record に詳細に規定されています。テスト手順にはCTT (Conformance Test Tool) の使用だけでなく、手動で実施するテストも含まれています。社内テストで適合性を確認する場合でも、公式認証を取得する場合でも、これらの両方が重要です。本ウェビナーでは、ETCのテストエンジニアが実際に行っている方法と同じ手順で、いくつかの手動テストをどのように実施するかを紹介します。これにより、高い品質基準を満たし、公式テストを一度でパスできるようになることを目指します。



Daniel Keil

2026年3月26日 木曜日
03:30 pm –04:30 pm (JST)

SSC ツール利用ガイド

1. アイデアからアプリケーション実行までの手順 (ベッコフEL9800ハードウェアベース)
2. SSCコマンドラインツールでの作業
3. 独自のSSCツール設定構成の作成
(開発サービスプロバイダー、ESCまたは開発ボードベンダーが独自/カスタムコード設定を配布する場合)



Rainer Hoffmann

ウェビナー

同期 金曜日

2026年3月27日 金曜日
02:00 pm – 03:00 pm (JST)

EtherCAT 同期モード：基本概念

EtherCATの同期モードは、プロセスデータの更新とMainデバイスおよびSubデバイスのアプリケーションをどのように同期させるかを定義します。EtherCATは、フリーラン、SM同期、DC同期と呼ばれる3つの同期モードを規定し、選択可能なバリエーションも定義しています。本ウェビナーでは、グラフィカルなアニメーションと具体的な事例を用いて、各種同期モードを紹介し、各モードについて、基盤となるメカニズム、ハードウェアおよびソフトウェア実装の側面、ならびにESIファイルでの記述方法を解説します。



Alessandro Figini

2026年3月27日 金曜日
03:30 pm – 04:30 pm (JST)

EtherCAT同期モード - SSC実装

このウェビナーでは、SSC (Subデバイススタックコード) を例に、EtherCAT SubデバイスソフトウェアスタックにおけるEtherCAT同期モードの実装方法を解説します。これには割り込み処理、プロセスデータ処理、同期の監視 (エラー処理など) が含まれます。



Rainer Hoffmann

事前に観ておきたい動画：仕様理解から実装まで：EtherCAT Subデバイス構築ガイド – Part 2

セッションカレンダー

2026年開催のEtherCAT ITWで提供される全ウェビナーセッションの概要を以下にご確認ください：

JST	月曜日 2026-03-23	火曜日 2026-03-24	水曜日 2026-03-25	木曜日 2026-03-26	金曜日 2026-03-27
01:30 pm	キックオフ				
02:00 pm	EtherCAT開発の始め方 - いくつかの重要なポイント	仕様理解から実装まで：EtherCAT Subデバイス構築ガイド – Part 1	CTT - 基本機能とスレーブ開発への活用方法	インハウスでの高精度ETCテスト実施 – ハンズオンでの実施	EtherCAT 同期モード – 基本概念
03:00 pm	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A
03:30 pm	EtherCAT開発者向けリソース情報	仕様理解から実装まで：EtherCAT Subデバイス構築ガイド – Part 2	CTT - 高度な機能 (リモートコントロール・インタフェース、コンフィグレーション、他)	SSC ツール利用ガイド	EtherCAT 同期モード – SSCによる実装
04:30 pm	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A
05:00 pm					まとめ

お申し込み

登録期限：2026年3月20日

オンライン登録

オンライン登録はこちらから

www.ethercat.org/itw-japan

多くのウェビナー、Q&Aセッションにふるってご参加ください。

登録期限：2026年3月20日

ぜひ御社内の関係部署や同僚の方にもご案内ください

参加対象はETGメンバーです。

オンライン登録の確認と通知

各登録にはETG本部の承認が必要なため、ログイン情報の提供は登録後少々お時間をいただく場合があります。ログイン情報は個人専用のものであり、組織内外を問わず他者と共有することは禁止されています。参加登録は、参加者個人がそれぞれ行ってください。

GoToWebinar™から、各ウェビナー開催日の前日と1時間前にEメールでお知らせします。

オンラインプラットフォーム

GoToWebinar™は、ウェビナー・ソフトウェアとして使用されています。

GoTo Webinar

講演者紹介

EtherCAT International Technology Week の注目ポイントの一つは、講演者がそれぞれのプレゼンテーションを入念に準備し、終了後のQ&Aセッションで参加者の質問に回答することです。

参加者は、EtherCATのエキスパートから直接にノウハウや知識を学ぶ貴重な機会を得られます。EtherCAT International Technology Week (ITW) World シリーズのランディングページでは、EtherCATエキスパートに関する情報やその他の詳細情報をご確認いただけます：

www.ethercat.org/itw